

主任コラム3月号

主任 澤井 良子

今年度も残すところ1か月となりました。卒園という別れの季節でもあり、進級という喜びの季節でもあります。子ども達にとっても実りある楽しい思い出の日々となればよいなと思います。

2月に開催した生活発表会では、お忙しい中起こし頂き、そしてたくさんの拍手、温かい眼差しやご感想を頂きありがとうございました。2歳児は、いままで子ども達と保育士と一緒に体験してきたことや、保育の中でのやりとり（言葉）、3歳児は音楽に合わせて繰り返しのあるやりとりを子ども同士で楽しむ姿、4歳児は子どもと保育士で話を展開する中で子ども同士がセリフを助け合う姿、5歳児は保育士がいなくても自分達で完璧に覚えて劇を展開していく姿・・・とそれぞれの年齢の言葉や表現の発達、友達との関わり（人間関係）をみていただけたのではないかなと思います。

今までの異年齢では、大きい子が小さい子を助けたりする場面を見て頂けたと思いますが、年齢別では、その年齢の発達の違いを感じて頂くことができたと思います。また、来年度のお子さんの成長を楽しみにしていただくこともできるかと思えます。私は舞台袖にいましたが、子ども達は余裕すらある表情で、そしてなにより楽しんでいました。同じく舞台袖で見ていた音響、監督さん達にも「こんなに、本番を笑顔でいきいきしている園児さんの姿や表情はみた事がない」と言われ、保護者の方からも「めっちゃ楽しんでる。やらされていないからだね」という声をかけて頂きました。それらの言葉は私にとって何よりも嬉しい言葉でした。保育士がやらせるのではなく子ども達の意見に耳を傾け、一緒に考え作り上げていくことが大事なのではないかと思えます。それは、行事に限らず、毎日の保育の中でも感じています。1人1人が、それぞれの意見を持ち主張できる場。否定するのではなく、人の意見にも耳を傾けることのできる関係性をこの脳や感受性の敏感な保育園の時期に育てていってほしいと思っています。

以上児の選択活動の様子。『何にしようかな？』



0・1歳児もおやつの量を自分で選びます。『おかわりちょうだい!』



年長さんにとっては最後の保育園生活ですが、卒園しても子ども達はもちろんのこと保護者の方も気軽にいつでも保育園に遊びに来てください。職員一同待っています。